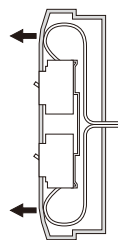


④電線の押上げ（分岐への配線）

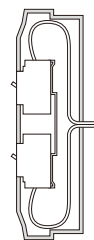
A) 分岐ブレーカへ配線した電線がカバーを押し上げているため、カバーが閉まらないまたはカバーが脱落した。



電線がカバーを押し上げている。

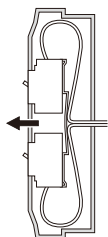


対策例



電線がカバーを押し上げないように配線する。
(ボックスを変形させないようにする)

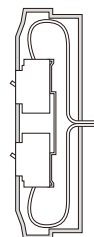
B) 分岐ブレーカへ配線した電線が、内部機器を介してカバーを押し上げているため、カバーが閉まらないまたは脱落した。



電線が内部機器を押し上げている。

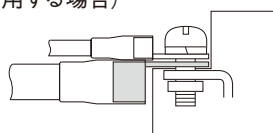


対策例



電線が内部機器を押し上げないように配線する。

参考) 圧着端子接続方法 (2個使用する場合)



太い電線を必ず下側に接続する

3. 検査

通電をする前に誤配線の無い事と、ねじの増し締め、差込端子の確認 (速結式) などを確実に行ってください。

トラブル事例

正しい絶縁抵抗測定ができない。

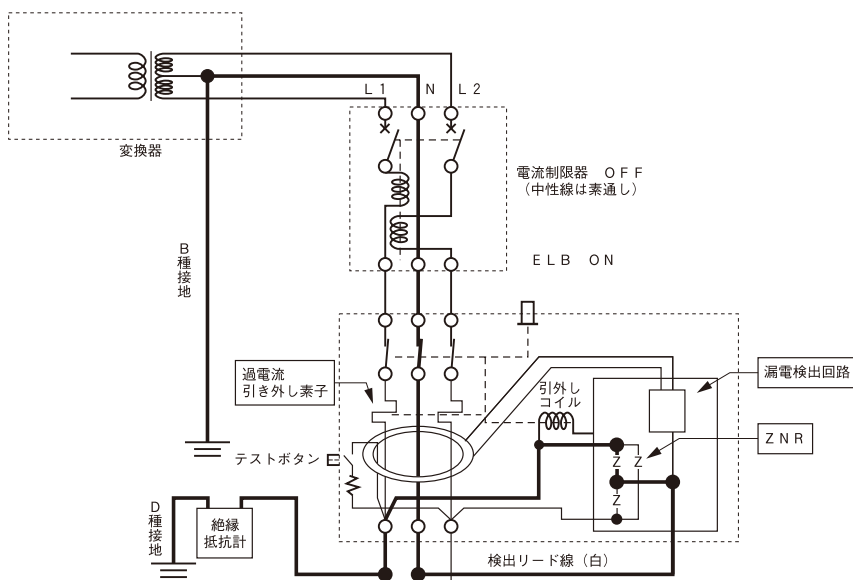


対策例

- ・線間の絶縁測定は絶対に行わない。
- ・測定時は主幹漏電ブレーカの電源をOFFにする。

※注意

- ・ELB内部には、中性線欠相と漏電の保護を行う漏電検出回路があり、L1、N、L2が接続されている。
- ・電流制限器がOFFでELBがONの状態では、図のように検出回路のサージ保護用ZNRに絶縁抵抗計の試験電圧が印加されている。



単3中性線欠相保護付漏電ブレーカ
内部結線